

平戸市都市計画マスタープラン

第 1 回策定委員会 議事要旨

日 時 平成 23 年 12 月 19 日（月）午後 14 時 00 分～午後 16 時 00 分

場 所 平戸市離島開発総合センター

出席者

【委員】 鮫島委員長、町田副委員長、木田委員、森委員、松山委員、相知委員、鴨川委員、井手口委員、重富委員、末永委員、松尾委員、立石委員、池田委員、岡委員、新井委員、尾上委員、田代委員、戸田委員、中村委員、松本委員、船原委員

横石委員（欠）、永田委員（欠）、川久保委員（欠）、松田委員（欠）

【事務局】 白鞘建設部長、山浦都市計画課長、橋口参事監、三好参事、村山技師

【国際航業】 日野、山城、大畑

1 . 委嘱状交付**2 . 開会****3 . 挨拶****4 . 委員紹介****5 . 委員長及び副委員長選出**

鮫島委員長、町田副委員長を選出した。

6 . 議題**(1) 都市計画マスタープランの目的と役割**

【資料 1：平戸市都市計画マスタープラン策定の目的と役割】の説明を行った。

(2) 策定体制

【資料 2：平戸市都市計画マスタープラン策定体制】の説明を行った。

(3) 策定スケジュール

【資料 3：平戸市都市計画マスタープラン策定スケジュール】の説明を行った。

(1)～(3)について

委員：江迎都市計画区域が入っているのは何故なのか？津吉は入っていないか？

事務局：江迎都市計画区域の一部が旧田平町に含まれており、平戸市都市計画マスタープ

ランの対象区域となる。津吉は平戸都市計画区域に入っている。

委員長：江迎都市計画区域に平戸市田平が含まれることになった経緯は？

事務局：都市計画区域は昭和26年に制定されており、その頃は炭鉱があって栄えていた。田平に入れないと都市計画区域の面積が足りなかったからではと推測しているが、資料が残っていないのではっきりとした理由は分からない。対象地域は江迎の海岸寄りの地域でグリーンヒルズの半分が入っている。

委員長：都市計画区域は今後都市化するという前提だが、江迎都市計画区域に入れる必要があるのか？これから都市化が進むとも思えない場所を計画に入れておくべきか、今後県と相談して欲しい。

事務局：来年度には佐世保市が江迎地区の都市計画基礎調査を行うので、それに合わせて平戸市の江迎都市計画区域も調査してもらえよう相談したが難しいようだ。今後本委員会で議題にしてもらえないかと課内で協議していた。

委員長：ちょうど良いタイミングである。

委員：『目標年次20年』はどう捉えればよいのか？

事務局：長期的な視点に立ち20年としているが、市の方針によって10年や15年で見直す場合もある。

委員長：今回のマスタープランは、平成25年に公表されるものが平成45年まで生きているということか？

事務局：そうである。

委員：たった5回という策定委員会で、20年間の計画を検討できるのか？もう少し委員会回数を増やして精力的に行うべきでは。

事務局：現況把握と課題整理等、策定委員会の大きなプランは決まっている。進行していく中で回数を増やすこともあるが、基本的に5回と考えている。8回行うところもあるが、他市町村でも5,6回が多い。策定委員会5回とその他にも住民に対する地域別懇談会を3,4回予定している。

委員長：議論の進み具合をみて、足りない場合はもう一回お願いする。地域別懇談会は地域により様子が違うだろうが、各地域で議論しないと計画が煮詰まらない部分もあると思う。例えば旧平戸城下は都市のイメージだが、市民としては「このまま住み続けられるのか」、「仕事はあるのか」と不安に感じているかもしれない。地域によっては、20年後に高齢者が増え家が消えるという事態になれば、計画を作る意味がないのではないか？ 20年後ということを考えると、これをやらねばならないと押し付けるよりも、次の世代が柔軟に対応できるような計画を作る必要がある。それを踏まえて計画の考え方を地区別懇談会で練り上げたい。

法改正によって、都市計画の権限が大臣から県知事に委譲され、都市計画区域マスタープランの策定が法律で義務付けられ、3つの目標を定めている。

- ・土地利用
- ・都市施設の整備（交通・道路・上下水道・学校等）
- ・市街地開発（農林・漁業・観光等）

平戸市都市計画マスタープラン策定のためには、農林漁業、観光等を考慮すること

が必要となる。

平戸に高いビルは似合わないだろうが、市街地の再整備が必要ではないか。都市計画区域として限定せず、平戸市全体を見て検討した方が良いのではないかと思っている。20年後をイメージし、あまり細かく定めるよりは次の世代に選択の余地があるような計画作りを目指すべきである。

(4) 平戸市の現況

【資料4：平戸市都市計画マスタープラン現況調査資料】の説明を行った。

委員長：P21・年齢別人口推移図の解説をして欲しい。田平・平戸他大きな地域別の人口の資料が欲しい。人が消えるとまちづくりが出来ない。20年後に人がいなくなると予想される地域はあるのか？あるならばまちづくりより前に人がいなくなるための計画を立てる必要がある。地域別懇談会の準備をしていただきたい。

事務局：グラフの奥が高くて手前が見えているのは人口が減っているということである。なおかつ20～24歳は人が流出して谷のようになっている。棒グラフを見ても各年齢で人口が下がってきていることが分かるが、70歳以上は増加し高齢化が進んでいる。地域別人口はまだ整理できていないので次回用意したい。

委員長：P14, 15で景観特性を示しているが、景観計画は平戸地区のみなのか？

事務局：合併後に景観計画を策定しており、平戸市全域含まれている。

委員長：総合計画アンケートと違う箇所は？

事務局：次回までに検証して示す。地域別のアンケート集計もお出ししたい。

委員長：日頃から感じている現状と課題の整理も願います。市民からのアンケートで駐車場がない、小児科がない、通学路が狭い等出ているが如何だろうか？

委員：アンケートの回収率が27%と低いようだが、もっと上がらないか？一般市民が非協力的に思える。市の広報で周知はできないのか？

事務局：アンケートの内容が難しく、設問を簡単にしようとしたが、それでも難しいと感じたようで回収率が27%となった。一般的な回収率は30%程度なので、特に悪くはないと思っている。広報による周知は行った。

委員長：P58の年齢層を見ると回答者は30、40代が多い。一般的なアンケートは高齢者に偏ることが多いが、今回はこれからの平戸を支える若い世代の回答者が多く、回収率は悪いが、設問の中身は良いと思う。今までの会議内容を踏まえ、今後の検討に必要な資料等、欲しい資料はないだろうか？

委員長：P26・産業について。不動産業が958事業所から49事業所とかなり減っているが何かあったのか？また、卸売・小売業は8事業所から643事業所と大幅に増加している。昔から小売業はあったが、事業所統計なので個人店は除いていたのだろうか？

事務局：確認する。事業所統計なので、転記ミスでなければ理由があると思う。

委員長：土地利用では農業振興地域が広いが、兼業農家は減っている。見た目は緑が多いが、ただ放置されているだけの緑なのだろうか。現状の農業のデータを確認したい。また、P27・水産業について。生月の漁獲量が半減している。平戸の1次・2次・3次

を足して6次産業とする計画を丁寧に調査した方が良いのではと感じた。

委員：P20・人口について。平成22年は34,905人となっているが、総合計画の目標人口は33,333人だった。今回の目標人口の根拠は何か？また、これから人口が減らないように計画を考えているのか？

委員：総合計画の目標人口33,333人については、総合計画に参加した委員もあり、私もその場にいたので何故そうなったかを説明する。今後、人口は減るものであり、総合計画では目標人口に対して、人口数よりも何人が幸せと感じているかに重きを置いている。人口を想定していないと計画全体が成り立たないので、この数字を実現するために総合計画の策定に取り組んだ。実際の数字と違う箇所も出てくるかと思う。

事務局：P22の資料を見ると、出生数が低下、転出者が増加しているのも、思っていたよりも減少が加速しているようだ。食い止める策は全市的に検討しているが、Uターン・Iターン者が増えれば良いと思っている。

委員：事務局としては都市計画の限られた分野しか回答できないということだ。買い物客・観光客がどうしたら増えるか？どうやって流出を減らすか？それぞれの条件をクリアする意見を出し合うことがこの会議の趣旨だと思う。

事務局：内部の会議で補足して計画を作っていくたい。

委員：前回の都市計画マスタープランの委員だったが、10年間のまちづくりの結果はこうだったのかと感じた。今回の委員の中では年齢が上の方なので責任があると思っている。平戸には離島があり、交通の問題、道路問題がある。住んでいるところ、働くところ、遊ぶところをどう繋いでいくかが今後課題になると思う。また、P29・観光についてだが、日帰り客をどうカウントしているのか？数が大幅に変化しているが、合併が関係しているのか、それとも数え方が変わったのか？

事務局：平戸市観光統計を引用しているので、聞いて確認する。車のナンバープレートで計測しているのだと思う。

委員：これは、ホテルの聞き取り、施設の入館数、イベントの来場者数の推計値である。

委員：P72の意見について。インターネット上に接客が悪いと書かれているが、確かにホテル従業員の接客態度がなっておらず、リピートしようと思えない。従業員の教育に突っ込まざるをえないのではないか？一般市民の関心が薄いということも、根本から築き上げていかないと上手くいかないのではないか。

委員長：TV番組（『鶴瓶の家族に乾杯』）で平戸市が取り上げられたが、せっかくの良い機会を活かさなければと思う。

委員：あの番組は視聴者も多い。

委員長：平戸市のもっと見せたいところを見せなければならない。

委員長：P21・年齢別人口推移について。昭和30年、35年には中学生以下が多く、3人に1人が子どもという状況だったが、昭和40年頃から20代を中心に数が減少している。平戸で育ち、年頃になれば外へ出て行くということが習慣化しているが、30代、40代になると盛り返している。Uターンしてきた人はどんな仕事に就いて戻ってきているか調べ、その上で平戸市に一番求めるものは何か、新しく働ける場は必要か？ということを考えていきたい。また、アンケートで駐車場を増やして欲しい、細い道路をスイ

スイ通れるようにして欲しいという意見があるが、有料駐車場を増やして成り立つのだろうか？平戸では店の前に車を停めて買い物をする習慣があり、それを制限されると店に人が来なくなるそうだ。市民が今ある道路のあり方、便利な使い方を考える必要がある。集落まで道路を延ばすにしても、どこからか必ず不満が出てくるだろう。昭和40年頃からマイカーに乗る文化が広がったが、これから車に乗れない人が増える時代になる。そういう層への対策を考え、今あるものを評価し足りないものを整備する計画にしていく。地区の道路を納得して作っていくよう、市民の本音が議論できるための資料・データがあると良い。

委員：アンケート対象者は全市のようだが、都市計画区域以外に住んでいる方にも聞いたのか？20年後の計画のアンケートとして、回収率27%は気になる。郵送ではなく区長による回収だと率が高くなったかもしれない。P58の年代によるとバランスよく回収出来たが、70代以上よりも年少者の意見を救い上げるべきだったと思う。また、福祉に関するアンケートの質問がない。医療福祉関係の従業者は約2,000人おり、今後高齢者が増えるので、質問がもっとあれば良かった。

事務局：全市でアンケートを行い、都市計画区域に配布する割合を多くした。福祉についての質問は足りなかったと思うが、今回のアンケートだけでなく、ご意見をいただいて計画に盛り込んでいきたいと考えている。

委員長：P63で福祉施設の質問はある。

委員：今までの議論の中で、自分がどういうことをするのか整理している。平戸への夢と希望を形に出来れば良いが、なかなか都市型にはなれないだろう。他地域にとって平戸が独自のモデルになればと思う。また、これまで計画されていたマスタープランはどれだけ進捗しているのか？市民に馴染みのない内容では絵に描いた餅ではないか？進捗率・達成率を踏まえ、20年後に向けてどういう計画を立てるか説明して欲しい。

事務局：進捗率については現マスタープランを検証するので後日示す。見た限りでは、ハードについてはある程度出来ている。その検証を踏まえて新しいマスタープランを作っていこうと考えている。

事務局：P43の道路網現況について。都市計画道路の5路線を3年前に廃止している。当初計画から40年経過した中で随時見直しをしている。

委員長：P44の図は見辛い。廃止した道路の色を分かりやすくした方が良い。

事務局：A3に縮小するのでどうしても小さくなる。今後修正していきたい。

委員長：次回3月の第2回策定委員会で現マスタープランの検証、新計画の課題・目標について議論していただく。

委員：平成24年3月までに、8月予定の地域別懇談会を前倒しで行い、次回委員会の参考にするのはどうだろうか？

事務局：7月の委員会で全体構想を提示して委員の皆様にご意見を貰い、その計画を基に地域別懇談会に入る予定である。データを分析し、8月までに案を作り市民にご意見を投げかけたい。

委員長：地域に関する部分だけを抽出し意見しても、全体の意見と何も変わらない。地域では都市計画道路よりも生活道路への関心が高い。法定計画としての部分と地域の計画

として残す部分があって良い。地区別の5、10年後の計画を作っていくとした方が地区別懇談会の意味がある。計画に反映出来なくても、地域の意見を聴取することができる。地方への明かりを点すという仕組みを作るのも一つのやり方だと思う。

事務局：各自治会からの要望・陳情についてはその都度対応している。今回は都市計画の問題が地区別懇談会の中心となる。

委員長：地元で5、10年後のまちづくりについて考えてもらおうと良いと思う。地区同士で情報を見せ合っていくと面白いのではないか？これからは今ある資産を見直すことが大事である。

(5) その他

7 . 閉会

以上